

小樽の冬道を安全に歩けるように

令和7年10月23日

小樽市立花園小学校5年生と協働で砂入りペットボトルを作りました

小樽開建と
共創



オリジナルラベル付きペットボトルに手作業で砂を詰める子どもたち

小樽開発建設部は関係機関の協力を得て、小樽市立花園小学校5年生と協働で、転倒防止のために冬道にまく砂が入ったペットボトルを作りました。

同小学校の子どもたちが、地域の安全、環境や社会への貢献について学ぶ取組として、10年以上前から実施しています。



完成した砂入りペットボトル

オリジナルラベルをペットボトルに貼り付け

はじめに、小樽市の観光名所が描かれたイラストと冬道での砂まきを呼びかけるメッセージ書かれたオリジナルラベルを、ペットボトルに貼り付けます。子どもたちは、それ

ぞれ5本のペットボトルに、1本1本丁寧にラベルを貼り付けていきました。うまく貼ることができた子どもは、笑顔でうれしそうにしていました。



上／シール貼りを小樽開建職員がサポート
右上／丁寧にシールを貼り付けていく子どもたち
右／ペットボトルを提供した北海道コカ・コーラリテール&ベンディング(株)の社員

ラベルは、子どもたち一人一人が事前に塗り絵したイラストをもとに作成したものです。メッセージは、海外からの観光客にも伝わるよう日本語だけでなく、英語、韓国語、中国語でも表示しています。ペットボトルは、子どもたちが家庭から持ち寄った再利用のペットボトルと、北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社から提供いただいたペットボトルの2種類を使用しました。



楽しくペットボトルに砂入れ

続いて、ペットボトルに滑り止めの砂を詰めてもらいました。この作業はとても楽しかったようで、どんどん砂入りペットボトルができあがります。短い時間で約270本の砂入りペット

ボトルが完成しました。作業終了後、子どもたち代表2名が、「砂詰めは楽しくてわくわくしながら作業できました」、「もっとやりたかったです」と、感想を話してくれました。

作業に必要な砂、ブルーシートなどの資材の準備は、地元の国道の維持工事を実施している宮本土建工業株式会社が行いました。



子どもたちの砂入れ作業の準備をした宮本土建工業(株)の皆さん



子どもたちの代表二人が砂入りペットボトルの製作作業の感想を話してくれました

子どもたちは来年2月に、今回作成した砂入りペットボトルを使って通学路で砂をまいて、滑り止めの効果を体験する予定です。また、冬の小樽を訪れる観光客にペットボトルを配付して、砂まきへの協力をお願いする予定です。



砂入れペットボトルを製作した子どもたち、作業にご協力いただいた北海道コカ・北海道コカ・コーラリテール&ベンディング(株)と宮本土建工業(株)の皆さん、小樽開建の職員で記念撮影